

一般質問

立 員
鈴 議

- 一、竹林増加の弊害と雑木林の生活環境への波及的效果について
二、総合福祉施設建設の見通しと現況について

質 問

答 弁

一、山里の雑木林は保水力に優れ、生き物の生息環境を保ち、ミネラル豊富な伏流水による水源からの稲作は優良米の産出を支え、上質飲料水等生活環境に計り知れない効果をもたらすが、雑木林への竹の増加は生さるべき環境に甚大な変化を来す。河川は容易に鉄砲水により氾濫し、壊滅的被害を被る。上流からの堆積物により川は浅く、伏流水による湧水は乏しく、貯水池の水量は少なくなり、生活に不可欠な飲料水すら十分確保できない危機的状況に直面するのではないかと危惧している。雑木林の増大育成は、有害鳥獣と人の生活環境の棲み分けも図られる。雑木林育成制度はないのか伺いたい。

二、総合福祉施設の建設は長年の懸案事項である。生まれて亡くなるまでの一人の人間の健康、生命に関わる最高の行政サービスを市民に提供する重要な部署である。建設に当たっては、コンサルタントに丸投げせず、そこに勤める方の意見を十分聴取し、効果的に設計に生かされるよう配慮し、機能的な施設の建設を願っているが、市長の考えを伺いたい。

一、雑木林内の竹の伐採については、「ながさき森林環境税」を活用した県民参加の森林づくり事業があるが、ボランティア事業に対する支援制度であり、質問趣旨のような制度は今のところない。今後、市長会、担当課長会等を通して、例えば県に新たな制度を設けていただく等の働きかけをしていきたい。また、今後取り組みを考えている水源涵養・地球温暖化防止の森林づくりの取り組みの中で対応できないか検討していきたい。

二、昨年11月に建設検討委員会から、施設の基本構想について答申を受けており、これをもとに施設整備に取り組んでまいりたい。今後、基本設計、実施設計という作業になっていくが、より機能的、効果的な施設となるような調整作業を進めたいと考えており、ご指摘のように市の職員とか民間の皆様方等幅広い方々の意見を聞いて、その人たちの生の声を十分に施設整備に生かしていくことを基本としたい。

一般質問

保 員
下 議

- 一、松浦市の次世代育成について
二、伊万里湾海上交通網の整備について

質 問

答 弁

一、子どもたちは「次代の松浦を支える大切な資源」であり、子どもたちの健全育成に、行政として積極的な取り組みを図るべきである。(1)親の世代への働きかけが重要と考えるので、PTA研究大会等への参加を促進する施策を図り、PTA活動全般への支援を講じていくべきでは。(2)次世代商工業者の育成についても人材育成基金等を有効に活用し、関係団体へ働きかけ地元商工業者の育成を進めるべきでは。

二、(1)鷹島大橋(仮称)架橋後、現在運航されている航路についてどのような方向性が考えられているのか。(2)市内離島地区の諸問題について、市長も以前から言われていた高速艇による伊万里湾海上交通網の構築に取り組むべきではないか。(3)青島地区については、現状本土での就業が制限される中、どのような対応が考えられるのか。地元からの要望の早期実現を図るべきでは。

その他、松浦地区消防組合について質問しました。

一、(1)子育て世代に対するいろいろな事業があるので、一人でも多く参加していただくための支援、取り組みが必要と考える。教育振興基金等を活用した取り組み等総合的に議論してみたい。(2)前回の議会では指摘のあった事項について、速やかに対応できなかったことをお詫び申し上げたい。議会では質問があり、答弁したことについては、速やかに取り組むように、全職員に指導を徹底してまいりたい。

二、(1)現時点では、航路はそのまま残して、便数をどうするか、運航の時間をどうするかについて検討していきたいと考えている。(2)今後、高速艇の導入を視野に入れた航路対策に取り組んでいかなければならない。大橋架橋後のフェリーや車の利用状況を見ながら、利便性、経費負担の問題等を含めて総合的に検討したい。(3)これまで、安全運航や人的配置の面が厳しいということでそのままになっている。大橋架橋を契機とした湾内の全体的な航路、運航時間の見直しの中で、何とか解決できればとの思いで協議したい。